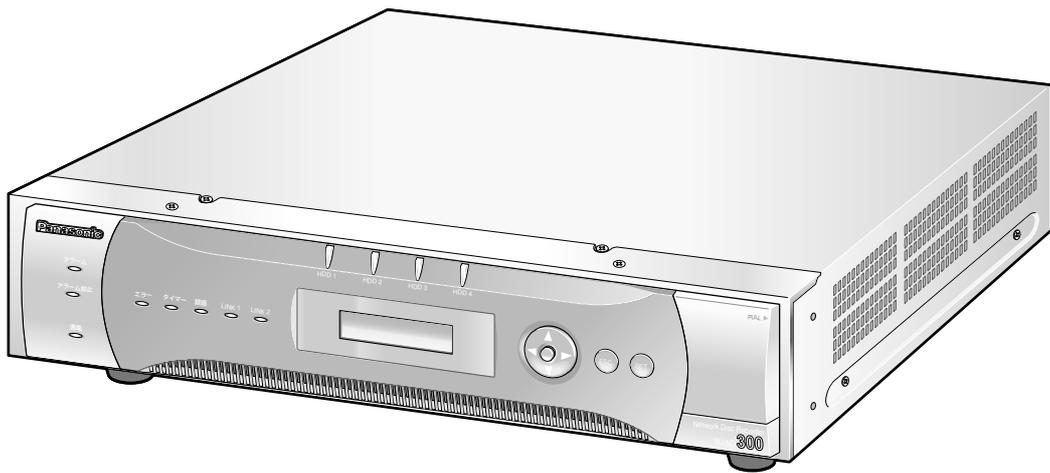


Panasonic®

取扱説明書 ネットワーク操作編

デジタルディスクレコーダー

品番 WJ-ND300 シリーズ



はじめに

商品概要

本機（WJ-ND300シリーズ）は、ネットワークカメラで監視している画像を録画・再生するネットワークディスクレコーダーです。

本機は、ビデオテープの代わりにパーソナルコンピューター（以下、PC）などに使用されている記録装置であるハードディスクドライブ（以下、HDD）を内蔵した録画機器です。ビデオテープと異なり、繰り返し録画を行っても画質の劣化がありません。

本機はネットワークを経由して、32台までのカメラを接続し録画できます。また、本機の設定や操作はネットワークに接続されたPCのウェブブラウザから行います。

本機（WJ-ND300シリーズ）とは以下のものを総称しています。

- WJ-ND300/2 : HDD2台搭載、RAID5ボードなし
- WJ-ND300/4 : HDD4台搭載、RAID5ボードなし
- WJ-ND300R/4 : HDD4台搭載、RAID5ボードあり

商品の特長

多彩な録画機能

● マルチレコーディング機能

カメラの場所によって録画レートを変えて録画したい場合など、運用形態が異なる環境でも、本機1台で効率的に運用できます。

● スケジュール機能

指定した曜日の指定した時間帯に自動で録画を行うよう設定できます。さらに、時間帯ごとに録画レートを変えることができます。

● 緊急録画機能

緊急事態などが発生したときに、外部に設置したスイッチ操作で、緊急録画モードに切り換えて録画します。

● 外部タイマー録画機能

タイマースイッチなどの外部タイマーを利用して自動的に録画します。

● イベント録画機能

センサーからの信号入力など、イベント発生時に録画時の録画レートを高いレートに切り換えて録画することができます。

画像のダウンロード／送信

ウェブブラウザに表示している画像をPCのHDDにダウンロード（保存）できます。FTPサーバーを設定すれば、指定したFTPサーバーに画像を定期的に送信できます。また、イベント発生時にアラーム発生場所の画像を送信することもできます。

イベント通知機能

イベントが発生したとき、指定した電子メールアドレスに電子メールを送信して通知することができます。電子メールを送信する際、アラーム発生場所の画像を添付して送信することもできます。

安心のセキュリティ機能

- ユーザー認証機能の搭載により、ユーザー名とパスワードにて操作できる機能を限定できます。また、ユーザーは32ユーザーまで登録できます。
- また、ホスト認証機能も搭載しており、登録されていないIPアドレスからは本機を操作できないように設定できます。
- 万が一、HDDが故障したときでも、録画した画像の消失を防止するRAID5機能を搭載しています。（WJ-ND300R/4のみ）

本書について

本機は、取扱説明書 設置工事編とネットワーク操作編（PDFファイル）、本書ネットワーク設定編（PDFファイル）の3部構成になっています。

本書は本機をネットワークを経由してPCから操作する方法について説明しています。

本機をネットワークを経由してPCから操作するにあたって必要な機能の設定方法や、機器の接続方法などについては、取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。ただし、こちらは工事業者向けです。

本機のネットワークに関する設定は、本機が接続される社内LANやサービスプロバイダなどの設定により異なります。各ネットワークについての詳細は、各ネットワークの管理者にお問い合わせください。

本機の前面にあるボタンで直接本機を操作する方法については、付属の取扱説明書 設置工事編をお読みください。PDFマニュアルをご覧になるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

本書および画面中のWJ-ND300、ND300とは本機およびWJ-ND300シリーズをあらわしています。

必要なPCの環境

PCで本機を操作するためには以下の環境を持つPCを推奨します。推奨外のPCを使用した場合には、画面の描画が遅くなったり、ブラウザが操作できなくなるなどの不具合が発生するおそれがあります。

OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional SP4日本語版 Microsoft® Windows® XP Professional SP1a日本語版、SP2日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP1a日本語版、SP2日本語版
コンピューター	IBM PC/AT互換機
CPU	Pentium® 4 1.4 GHz以上
メモリ	512 MB以上
画面	1024×768ピクセル以上の解像度、HIGH color 16ビット以上
インターフェース	10/100 Mbpsのネットワークインターフェースカードが内蔵されていること
ウェブブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 SP2、6.0 SP1 上記以外のウェブブラウザをご使用の場合、動作の保証はいたしません。

商標および登録商標について

- Adobe®、Adobeロゴ、Acrobat®、Adobe® Reader®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows® XPは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professional ServicePack4 日本語版をWindows2000と表記しています。
Microsoft® Windows® XP Professional SP1a日本語版、SP2日本語版、Microsoft® Windows® Home Edition SP1a日本語版、SP2日本語版をWindowsXPと表記しています。

用語について

HDD

ハードディスクドライブ（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

録画レート (ips)

録画画像を再生した時の動きの滑らかさを決める単位です。1秒間の記録コマ数をあらわします。数字が大きいほど滑らかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。

解像度

本機がカメラ画像を録画する際の画像のきめ細かさや画質の滑らかさを表す尺度です。本機では、画面上に表示されるドット数で表し、水平720ドット、垂直480ドットの場合、720×480と表記します。

マニュアル録画

[録画] ボタン、[録画停止] ボタンをクリックして手動で録画を開始・終了する機能です。

スケジュール録画

予め設定した時間帯に自動的に録画を開始・終了する機能です。

イベント録画

イベント発生時に自動的に録画を開始する機能です。イベント録画にはイベント発生前の画像を記録するプレ録画と、イベント発生後の画像を記録するポスト録画があります。

緊急録画

本機に接続した外部スイッチを使用して、緊急事態が発生したときなどに優先的に録画を行う機能です。

外部録画モード

本機に接続した外部スイッチを使用して、プログラムが設定されているタイムテーブルを切り換える機能です。

イベント

本機が特別な動作（イベント動作）を行うきっかけとなる事象をあらわします。イベントには、端子アラーム・コマンドアラーム・カメラサイトアラームがあります。

イベント動作

イベント発生時に行う特別な動作をあらわします。イベント動作にはALM（アラームモード）・ADM（アクティビティディテクションモード）があり、どちらのモードで動作するか設定することができます。ALMでは、イベントの発生を画面表示、LED、ブザーなどで外部に通知します（アラーム動作）。ADMでは、イベントの発生を通知する動作は行わず、録画とプリセット動作、イベント入力ログへの記録のみを行います。OFFでは、イベント入力ログへの記録のみを行います。

シーケンス

カメラの画像を決められた順番で自動的に切り換えて表示することです。本機は、ライブ画像を表示しているときにシーケンスを行うことができます。

電子ズーム

ライブ画像・再生画像を拡大表示する機能です。カメラ操作のズーム機能はカメラが持つズーム機能で画像を拡大表示するのに対し、電子ズーム機能は本機内で画像の拡大処理を行い表示します。

カメラ操作

本機に接続したコンビネーションカメラのパン／チルト（水平・垂直位置）、ズーム（画像の拡大・縮小）、フォーカス（焦点）、アイリス（レンズの絞り）、プリセット動作（指定水平・垂直位置への移動）、オート機能（カメラの自動回転など）操作を行うことです。

A-Bリピート再生

再生時に始点（A点）と終点（B点）を設定し、A-B間で繰り返し再生を行う機能です。

HDDセーフティモード

本機の電源を入れたままラックへ取り付けたり取り外したりする際に、振動や衝撃によってHDDが故障しないようにHDDの電源を切る機能です。

ディスクコンフィグ

HDDの交換・抜き取り・追加を行った場合は、HDDの設定を行う必要があります。ディスクコンフィグとは、HDDの設定を行うメニューのことです。

RAID (RAID5)

Redundant Arrays of Inexpensive Disksの略称で、HDDを複数台用いてアクセスを分散させ、高速、大容量で信頼性の高いディスク装置を実現するための技術を指します。1台のHDDに障害が発生しても、他のHDDに記録されているエラー訂正データを元に障害が発生したHDDのデータを復元することができます。（RAID5は、3台以上のHDDが接続されている時に使用できます。また、同時に2台以上のHDDに障害が発生した時は、障害が発生したHDDのデータを復元することはできません）

システムの管理者

本機の設置／運用に関する設定責任および権限を持った人のことです。

もくじ

はじめに

はじめに

商品概要	2
商品の特長	2
本書について	3
必要なPCの環境	3
商標および登録商標について	3
略称について	4
用語について.....	4
カメラ画像の録画・再生・ライブ画配信のしくみ ..8	
録画のしくみ	8
再生のしくみ	8
ライブ画配信のしくみ	8

録画・再生

録画・再生

録画する	9
再生する	11
ディスクを選んで再生する	14
頭出し再生する	16
録画イベントを検索して再生する	17
絞り込み条件について	17
録画イベントリスト画面表示について	17
操作のしかた	18

見る

見る (ライブ画像)

カメラのライブ画像を見る	20
カメラの画像を1画面で表示する	20
カメラの画像を4画面で表示する	21
カメラの画像をシーケンス表示する	22

イベント機能

カメラ操作

カメラを操作する	23
パン/チルト操作	23
ズーム・フォーカス・アイリス操作	24
オート機能（オートパンなど）	25
カメラの向きをプリセットポジションへ移動する	25

便利な機能

その他

イベント機能

イベント機能について	26
イベント発生時の動作	26
アラーム動作を抑止する	28
アラーム動作を解除する	28

便利な機能

コピーする	29
HDDに記録している画像を手動で消去する	30
文字情報を表示／編集する	31
FTPサーバーにカメラ画像を送信する	32
定期的にカメラの画像を送信する	32
イベント発生時にカメラの画像を送信する	32
履歴を確認する	33
障害発生履歴を確認する	33
本機へのアクセス履歴を確認する	34
イベント発生履歴を確認する	35
ネットワークの障害履歴を確認する	36
再生画像をダウンロードする	37
ダウンロードした画像を操作する	39
本機からビューワーソフトをダウンロードする	39
画像を再生する	40
画像を保存する	41
画像を印刷する	42
改ざん検出を行う	43

その他

メール通知について	44
アラームメールについて	44
アラームメールの内容をカスタマイズする	44
障害メールについて	46
障害履歴について	47
故障かな!?	50

はじめに

録画・再生

見る

カメラ操作

イベント機能

便利な機能

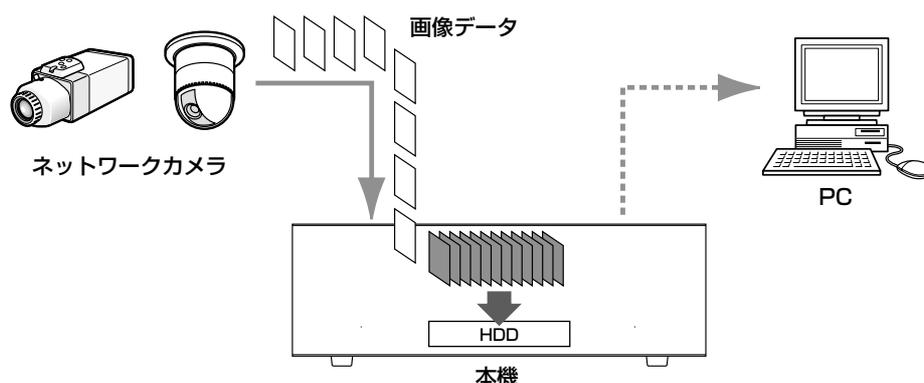
その他

カメラ画像の録画・再生・ライブ画配信のしくみ

録画のしくみ

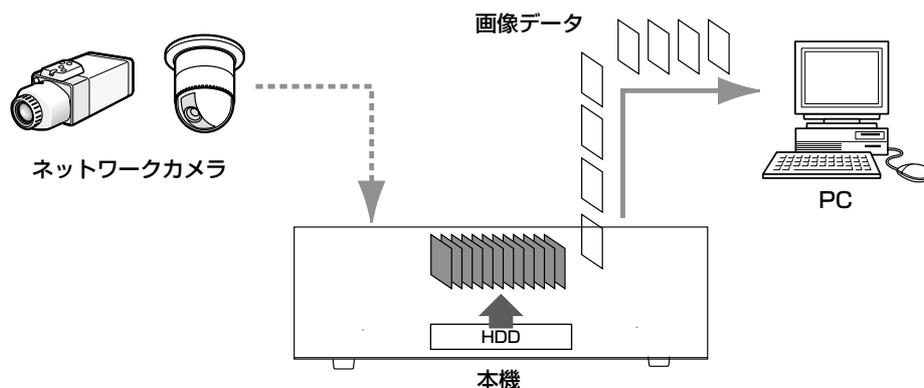
ネットワークカメラからカメラ画像が送られ、本機に録画します。1台のネットワークディスクレコーダーに最大32台までのカメラの画像を録画できます。画像はJPEGに対応しています。

録画する画像の解像度や録画レートは本機で設定することができます。



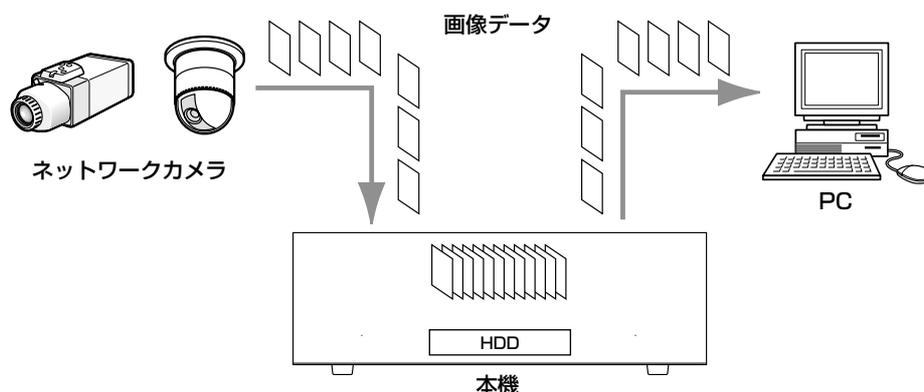
再生のしくみ

本機のHDDに録画された画像をPCへ配信し表示します。1台のネットワークディスクレコーダーに最大8台までのPCに画像を配信することができます。画像はウェブブラウザまたは専用マネジメントソフトウェア（WV-AS65：別売り）を使って表示します。



ライブ画配信のしくみ

ネットワークカメラの画像を本機を経由してPCへライブで配信します。最大32台のネットワークカメラの画像を最大8台のPCへ同時に配信することができます。



録画する

録画の開始／終了を手動で行います。

マニュアル録画する場合に必要な設定については、システムの管理者にご確認ください。

また、本機の起動のしかた、操作画面の表示のしかたについては取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

画面1

[HDD] タブを表示します。



STEP1

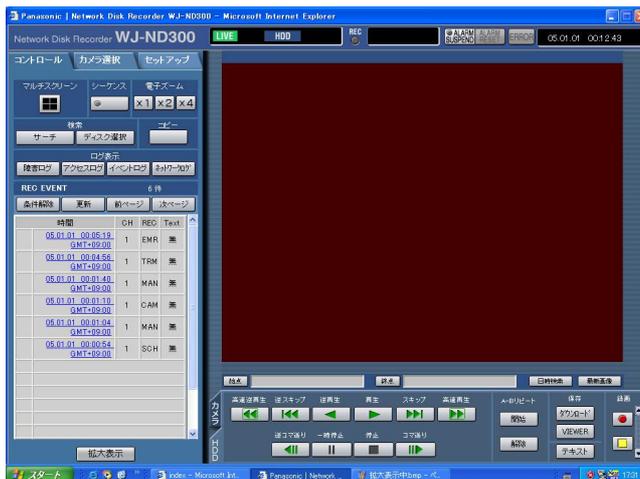
[録画] ボックスの [▲] ボタンをクリックします。

メモ

- 録画ボタン、録画停止ボタンが表示されるまで、[▲] ボタンを押し続けてください。

画面2

[録画] ボックスに録画ボタンが表示されます。



STEP2

-  (録画ボタン) をクリックして録画を開始します。
- 録画が開始されると、ステータス表示部のRECランプが赤点灯します。
- マニュアル録画よりも優先度の高い録画モードで録画が行われているカメラの画像は、その録画モードでの録画が終了するまで録画を待機します。録画モードについては以下をお読みください。

STEP3

録画を終了するときは、 (録画停止ボタン) をクリックします。

→ステータス表示部のRECランプが消灯します。

メモ

- 他の録画モード（イベント録画など、次ページ参照）でも録画が行われている場合、マニュアル録画を停止してもそのイベント録画は継続し、RECランプは赤点灯したままになります。
- カメラから画像データが受信できていない場合、録画されません。

録画する（つづき）

録画モードと優先度について

本機には、5種類の録画モードがあります。それぞれの録画モードと優先度は次のとおりです。
複数の録画モードでの録画が同時に始まった場合、優先度の高い録画モードでの録画が行われます。

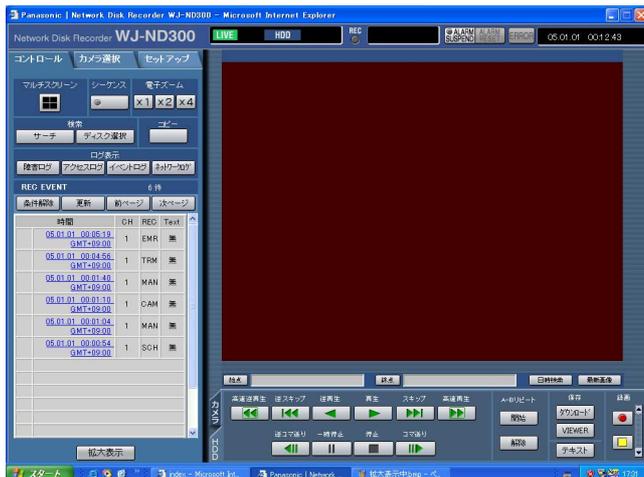
録画モード	概要	優先度
緊急録画	緊急事態が発生したときに、外部に設置したスイッチなどを使用して録画を手動で行います。	最優先
イベント・ポスト録画	各種イベントが発生した後の録画を自動で行います。	2
マニュアル録画	録画の開始／終了を手動で行います。	3
スケジュール録画	指定したタイムテーブルの録画を自動で行います。	4
イベント・プレ録画	各種イベントが発生する前の録画を自動で行います。	5

再生する

録画した画像を再生します。再生操作は、録画中も行うことができます。

画面1

[HDD] タブを表示します。



STEP 1

[再生] ボタンをクリックします。

→録画画像を再生します。ステータス表示部に  が表示されます。

前回再生を終了した日時から再生を開始します。

メモ

- ログイン後、初めて再生した時は、最新の画像から再生します。初期設定では最新の30秒前から再生を開始します。再生開始時刻は以下から設定できます。

最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／最新1分前／最新5分前

設定について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。

STEP 2

再生を停止するときには、[停止] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の  が消え、画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。

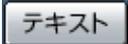
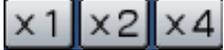
メモ

- 再生中に [カメラ選択] タブをクリックして、カメラ名称をクリックすると、カメラCHを変更できます。
- 再生中に [マルチスクリーン] ボックスのボタンをクリックすると、4画面表示に変更できます。

再生する（つづき）

再生中の便利な機能

一時停止		<ul style="list-style-type: none"> ●再生中に押すと、再生を一時停止します。 ●一時停止中に押すと、再生を再開します。
コマ送り／逆コマ送り	 	<ul style="list-style-type: none"> ●操作は一時停止中に行うことができます。 ●[コマ送り] ボタンを押すと、1コマ再生した後、一時停止します。 ●[逆コマ送り] ボタンを押すと前の1コマを再生した後、一時停止します。
高速再生／高速逆再生	 	<ul style="list-style-type: none"> ●[高速再生] ボタンをクリックするたびに再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。 ●[高速逆再生] ボタンをクリックするたびに、逆再生速度がStep2（約4倍）→Step3（約8倍）→Step4（約16倍）→Step5（約32倍）→Step6（約48倍）→Step7（約96倍）と切り換わります。 ●高速再生中、高速逆再生中に[再生] ボタン、[逆再生] ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
スキップ／逆スキップ	 	<ul style="list-style-type: none"> ●[スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の新しい画像にスキップして再生します。 ●[逆スキップ] ボタンをクリックすると、録画時刻の古い画像にスキップして再生します。 ●スキップ先が存在しない場合は、現在の再生を続けます。このとき再生時刻が1分程度戻る場合があります。
最新画像へスキップ		<ul style="list-style-type: none"> ●現在再生している画像の最新録画時刻へスキップし、再生を行います。初期設定では最新の30秒前へスキップします。最新画像へのスキップ先は以下から設定できます。最新5秒前／最新10秒前／最新30秒前／最新1分前／最新5分前から選択できます。設定について詳しくはシステムの管理者にご確認ください。 ●ライブ画像を表示しているときに[最新画像] ボタンをクリックすると、最新録画時刻の画像から再生を開始します。
多画面再生		<ul style="list-style-type: none"> ●分割画面（4画面）で再生画像を表示します。 ●4台までのカメラの画像を同時に4画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、あらかじめ設定された4つのCHのカメラグループ（A～H）の画像をAから順に切り替えて表示します。カメラグループの設定については、取扱説明書ネットワーク設定編をお読みください。 ●1画面表示に戻すときは、[カメラ選択] タブにあるカメラ名をクリックします。

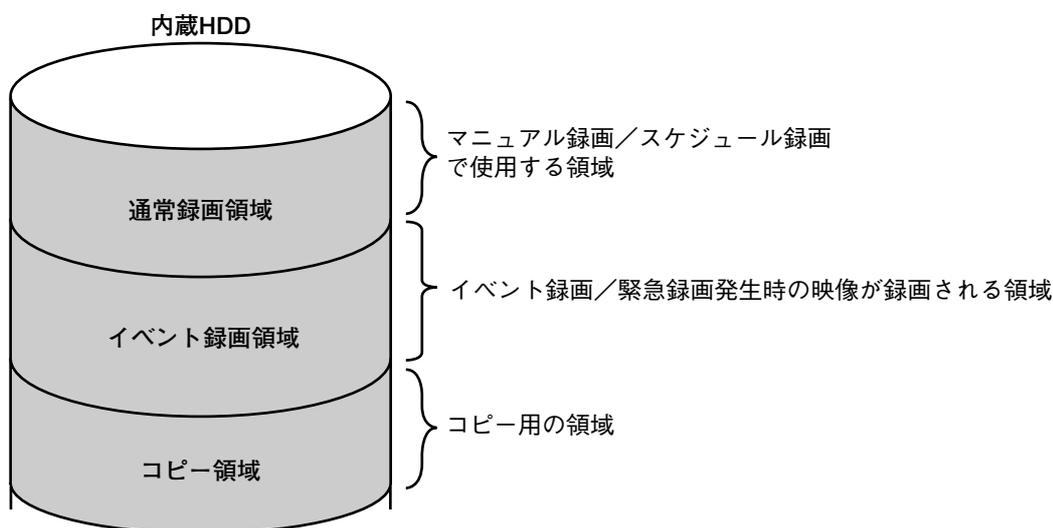
テキスト ( nnページ)		<ul style="list-style-type: none">●再生中の画像に記録されている文字情報を表示します。再生を一時停止し、[テキスト] ボタンをクリックします。●文字情報の表示／編集は録画画像を1画面で再生一時停止しているときのみ有効です。
拡大表示		<ul style="list-style-type: none">●再生中の画像やカメラのライブ画像を拡大表示します。●元の表示に戻す場合は [×1] ボタンをクリックします。

ABリピートに関する記載（操作方法ほか）が必要。
情報支給ください。

ディスクを選んで再生する

カメラ画像は本機の内蔵HDDに録画されます。
ここでは、ディスクを選んで、カメラ画像を再生する方法を説明します。
選択できるディスクは以下のとおりです。

- HDD通常領域／イベント領域：本機の内蔵HDD内の録画領域です。マニュアル録画（nnページ）やイベント発生時の画像が録画されます。
- HDDコピー領域：本機の内蔵HDD内のコピー領域です。録画された画像をコピーする（nnページ）領域です。



メモ

- ここでは、内蔵HDDや増設ユニット内蔵のHDDなどを「ディスク」と表現しています。
- 再生操作は、録画中にも行うことができます。
- 各録画領域の容量は設定によって異なります。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。

画面1

[コントロール] タブの [検索] ボックスにある [ディスク選択] ボタンをクリックし、ディスク選択画面を表示します。



STEP1

再生したいディスク領域にチェックをいれます。

STEP2

[OK] ボタンをクリックします。

メモ

以下の場合、ポップアップ画面が表示され、HDDのコピー領域を選択できません。

- 他のユーザーがコピー領域を選択しているとき
- 手動コピーが行われているとき

画面2

選択したディスクがステータス表示部に表示されます。

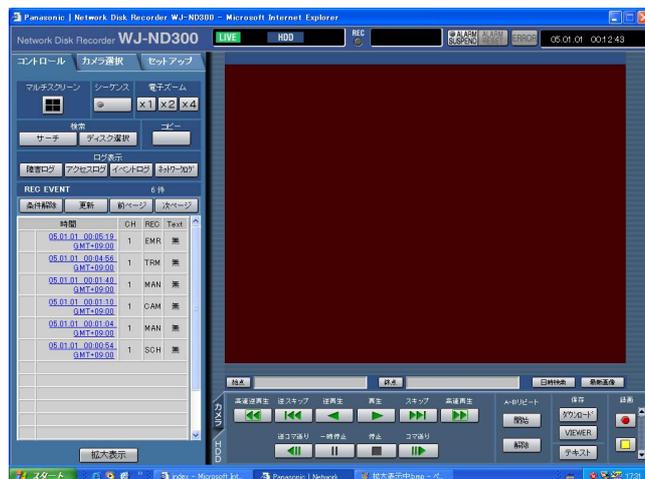


STEP3

[HDD] タブをクリックします。

画面3

[HDD] タブが前面に表示されます。



STEP4

[再生] ボタンをクリックします。

→ 選択したディスク内の録画画像を再生します。ステータス表示部に  が表示されます。

メモ

- 再生停止後、[再生] ボタンを押すと、前回再生を終了した日時から再生を開始します。

STEP5

再生を停止するときには、[停止] ボタンをクリックします。

→ ステータス表示部の  が消え、画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。

頭出し再生する

見たい画像の日時を指定して再生します。再生操作は、録画中にも行うことができます。

画面1

再生位置操作部にある「日時検索」ボタンをクリックし、再生開始日時画面を表示します。



STEP1

「[V]」ボタンをクリックして再生したい画像の日時を設定します。

● 検索基準CH

設定した日時がどのカメラCHのタイムゾーンを基準にするのかを設定します。

(国をまたがってカメラを設置している場合など、どのカメラCHの日時を基準にするのか設定する必要があります。)

STEP2

「再生」ボタンをクリックします。

→入力した日時の画像を再生します。ステータス表示部に  が表示されます。

指定した日時の画像がない場合は、以下のようになります。

入力日時以降に録画画像がある場合、入力日時以降の最も近い画像から再生します。

入力日時以降に録画画像がない場合、入力日時以前の最も新しい画像から再生します。

STEP3

再生を停止するときは、[HDD] タブの「停止」ボタンをクリックします。

→ステータス表示部の  が消え、画像表示部にカメラのライブ画像が表示されます。

録画イベントを検索して再生する

録画イベントリストを表示し、その中から再生したい録画イベントを検索して再生します（録画イベントサーチ）。録画イベントは以下の条件で絞り込んで検索します。

メモ

- 録画イベントの検索は選択しているディスク領域によって検索できるHDD内の領域が異なります。通常録画領域、イベント録画領域内の録画画像を検索したい場合は、HDD通常領域／イベント領域をディスク選択してください。また、コピー領域内の録画画像を検索したい場合は、コピー領域をディスク選択してください。ディスク選択についてはnnページをお読みください。

絞り込み条件について

絞り込み条件	検索方法
日時	検索開始日時と検索終了日時を選択し、その間に録画されている画像のみ検索します。
イベント	選択した録画モードの画像のみを検索します。選択できる録画モードは以下のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">・ マニュアル : マニュアル録画 (nnページ)・ スケジュール : スケジュール録画 (取扱説明書 ネットワーク設定編)・ 緊急 : 緊急録画 (取扱説明書 ネットワーク設定編)・ TRM : 端子アラームによる録画 (nnページ)・ COM : コマンドアラームによる録画 (nnページ)・ CAM : サイトアラームによる録画 (nnページ)・ プレ : イベント・プレ録画 (nnページ)
テキスト	テキスト付きで録画されている画像またはテキスト無しで録画されている画像を検索します。

録画イベントリスト画面表示について

リストアップされたデータの件数



The screenshot shows a table with columns for Time, CH, REC, and Text. A red box highlights the number '6' in the top right corner of the table area, indicating the total number of items listed.

時間	CH	REC	Text
05.01.01 00:05:19 GMT+09:00	1	EMR	無
05.01.01 00:04:56 GMT+09:00	1	TRM	無
05.01.01 00:01:40 GMT+09:00	1	MAN	無
05.01.01 00:01:10 GMT+09:00	1	CAM	無
05.01.01 00:01:04 GMT+09:00	1	MAN	無
05.01.01 00:00:54 GMT+09:00	1	SCH	無

リストアップされたデータの件数

: リストアップされたデータのトータル件数を表示します。

[条件解除] ボタン

: 絞り込みを解除し、すべての録画イベントをリストアップします。

[更新] ボタン: 表示内容を最新の状態に更新します。

[前ページ] ボタン: 前のリスト表示のページを表示します。

[次ページ] ボタン: 次のリスト表示のページを表示します。

時間 : 録画開始日時を表示します。

CH: 録画されているカメラCHを表示します。表示されているカメラCHで1画面再生が始まります。

REC: 録画モードを表示します。

MAN: マニュアル録画 SCH: スケジュール録画
EMR: 緊急録画 TRM: 端子アラームによる録画
COM: コマンドアラームによる録画 CAM: カメラサイトアラーム PRE: イベント・プレ録画

Text: 画像に文字情報が付加されている場合は「有」、付加されていない場合は「無」が表示されます。

操作のしかた

画面1

[コントロール] タブの [検索] ボックスにある [サーチ] ボタンをクリックし、録画イベント検索画面を表示します。



録画イベント検索画面のスクリーンショット。画面には以下の項目が設定されています。

- 時間範囲**
 - 開始: 05年 1月 1日 0時00分00秒
 - 終了: 05年 1月 1日 0時00分00秒
- 録画イベント**
 - マニュアル スケジュール 緊急 プレ
 - サイトアラーム 端子アラーム コマンドアラーム
- 検索基準CH**
 -
- カメラ**
 - 全カメラ
 - CAM1 CAM2 CAM3 CAM4
 - CAM5 CAM6 CAM7 CAM8
 - CAM9 CAM10 CAM11 CAM12
 - CAM13 CAM14 CAM15 CAM16
 - CAM17 CAM18 CAM19 CAM20
 - CAM21 CAM22 CAM23 CAM24
 - CAM25 CAM26 CAM27 CAM28
 - CAM29 CAM30 CAM31 CAM32
- テキスト**
 -

画面下部には [OK] と [キャンセル] ボタンがあります。

STEP1

条件を絞り込みます。

● 時間範囲

日時で絞り込みます。[√] ボタンをクリックして、開始日時、終了日時を選択します。

● 録画イベント

録画イベントで絞り込みます。検索したい録画イベントをクリックして選択します。

● 検索基準CH

設定した日時がどのカメラCHのタイムゾーンを基準にするのかを設定します。

(国をまたがってカメラを設置している場合など、どのカメラCHの日時を基準にするのか設定する必要があります。)

● カメラ

カメラCHで絞り込みます。検索したいカメラCHにチェックを入れます。

● テキスト

テキストのあり／なしで絞り込みます。[√] ボタンをクリックして、「有り」「無し」のどちらかを選択します。「--」を選択した場合、テキストのあり／なしは条件に含まれません。

STEP2

[OK] ボタンをクリックします。

→ステータス表示部に **FILTERING** が表示され、絞り込まれた結果が表示されます。

メモ

- 絞り込みを解除するときは、[条件解除] ボタンをクリックすると、すべての録画イベントが表示され、**FILTERING** が消えます。

画面2

[コントロール] タブの下に検索結果（録画イベントリスト画面）が表示されます。



STEP3

再生したい録画イベント日時をクリックします。
→選択した録画イベント日時の画像を再生します。

STEP4

再生を停止するときは、[停止] ボタンをクリックします。

カメラのライブ画像を見る

カメラの画像をライブでモニターに表示し確認します。

カメラのライブ画像はモニターに1画面または多画面で表示できます。

また、カメラの画像を自動的に切り換えて表示することもできます（シーケンス表示）。

カメラの画像を1画面で表示する

画面1

[カメラ選択] タブを表示します。



STEP 1

[カメラ選択] ボックスにカメラのリストを表示し、カメラ名をクリックします。

画面2

選択したカメラCHのライブ画像が表示されます。



メモ

●電子ズームについて

1画面で表示をしている時、画像をズーム表示することができます。

[電子ズーム] ボックスにあるボタンをクリックして画像をズーム表示します。

[×1] ボタン：電子ズーム1倍で表示します。

[×2] ボタン：電子ズーム2倍で表示します。

[×4] ボタン：電子ズーム4倍で表示します。

ズーム表示中の画像をクリックすると、その位置を中心に移動できます。

- ライブ画像を表示しているときに[最新画像] ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の画像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

カメラの画像を4画面で表示する

カメラの画像を4画面に分割して表示します。

画面1

[カメラ選択] タブを表示します。



STEP1

[マルチスクリーン] ボックスにあるボタンをクリックします。

画面2

カメラ画像が4分割で表示されます。



STEP2

4台までのカメラの画像を同時に4画面で表示します。ボタンをクリックするたびに、セットアップメニュー [詳細設定] - [システム] - [基本設定] - [モニター表示設定] の設定内容に従って、カメラ画像を切り換えて4画面表示します。

STEP3

1画面表示に戻すときは、[カメラ選択] ボックスにあるカメラ名のいずれかをクリックします。

メモ

- ライブ画像を表示しているときに [最新画像] ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の画像 (初期設定では最新の30秒前) から再生を開始します。

カメラのライブ画像を見る（つづき）

カメラの画像をシーケンス表示する

カメラの画像を自動的に切り換えて表示します。
あらかじめ設定してあるシーケンスの動作に従って表示します。

画面1

[カメラ選択] タブを表示します。

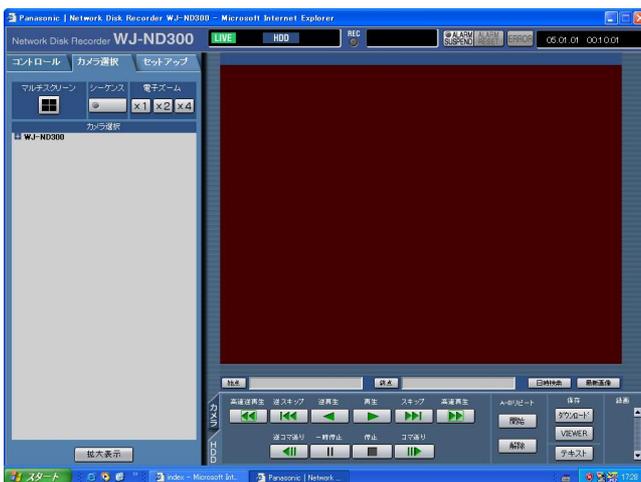


STEP1

[シーケンス] ボックスにあるボタンをクリックします。

画面2

あらかじめ設定してあるシーケンス動作の設定に従ってライブ画像がシーケンス表示されます。



STEP2

シーケンス動作を停止するときは、再度ボタンをクリックします。
また、シーケンス動作中に1画面表示 (1画面ページ)、4画面表示 (4画面ページ) の操作を行うと、シーケンス動作を停止します。

メモ

- 表示できないシーケンスステップはスキップされます。
- ライブ画像を表示しているときに [最新画像] ボタンをクリックすると、表示しているカメラCHの最新録画時刻の画像（初期設定では最新の30秒前）から再生を開始します。

カメラを操作する

回転機能付きカメラのライブ画像を表示しているとき、以下のカメラ操作を行えます。

- パン／チルト : カメラ画像の水平／垂直位置を調節します。
- ズーム : カメラ画像を拡大／縮小します。
- フォーカス : カメラ画像の焦点を調節します。
- アイリス : レンズの絞りを調節します。
- プリセット動作 : あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。

メモ

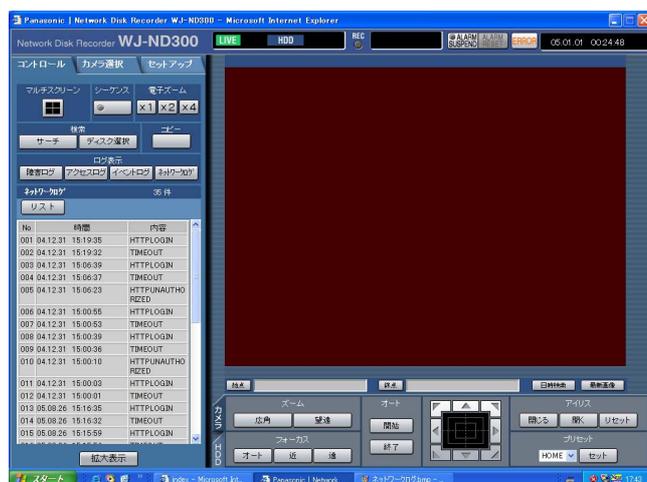
- 接続されたカメラの機種によっては、カメラが操作できないか、一部動作しない場合があります。
- カメラの操作はライブ画像を1画面で表示しているときのみ行えます。

パン／チルト操作

カメラ画像の水平／垂直位置を調節します。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP 1

以下のいずれかの方法でカメラの水平位置、垂直位置を調節します。

- コントロールボタン : クリックしてカメラの向きを調節します。
- コントロールパッド : クリックして、カメラの向きを調節します。パッドの中心から外側をクリックするほど、パン／チルトの速度が速くなります。
- 画面の画像表示部 : カメラ画像内で画角の中心としたい位置をクリックします。クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。

カメラを操作する（つづき）

ズーム・フォーカス・アイリス操作

ズーム操作 : カメラ画像を拡大／縮小表示します。表示される倍率はカメラの機種によって異なります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

フォーカス操作 : カメラ画像の焦点を調節します。自動で焦点を調節（オートフォーカス）することもできます。

アイリス操作 : レンズの絞りを調節します。レンズの絞りをリセットすることもできます。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP1

- ズーム操作
[ズーム] ボックスにある [広角] ボタンまたは [望遠] ボタンをクリックして、ズームを調節します。

- フォーカス操作
[フォーカス] ボックスにある [近] ボタンまたは [遠] ボタンを押して、カメラ画像の焦点を調節します。
[オート] ボタンをクリックすると、焦点を自動調節できます。

- アイリス操作
[アイリス] ボックスにある [閉じる] ボタンまたは [開く] ボタンを押して、絞りを調節します。
[リセット] ボタンをクリックすると、アイリスの設定をリセットできます。

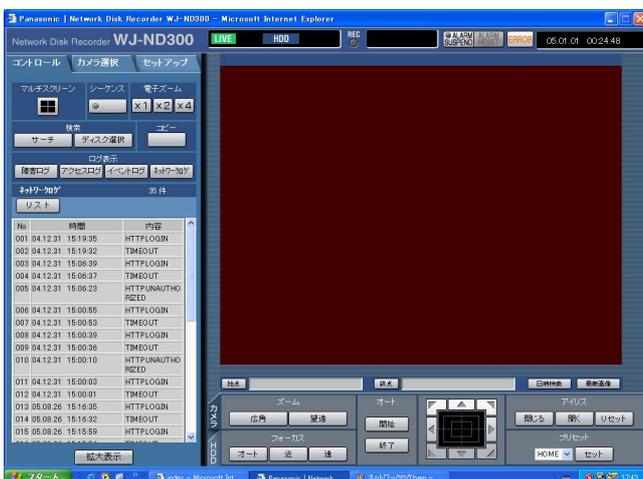
カメラの向きをプリセットポジションへ移動する

あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きを移動します。プリセット動作を行うには、あらかじめカメラのプリセットポジションを登録しておく必要があります。

プリセットポジションの登録のしかたについては、カメラの取扱説明書をお読みください。本機ではプリセットポジションの登録は行えません。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP1

[プリセット] ボックスの [✓] ボタンをクリックして、移動したいプリセット番号 (HOME、1~16) を選択します。

STEP2

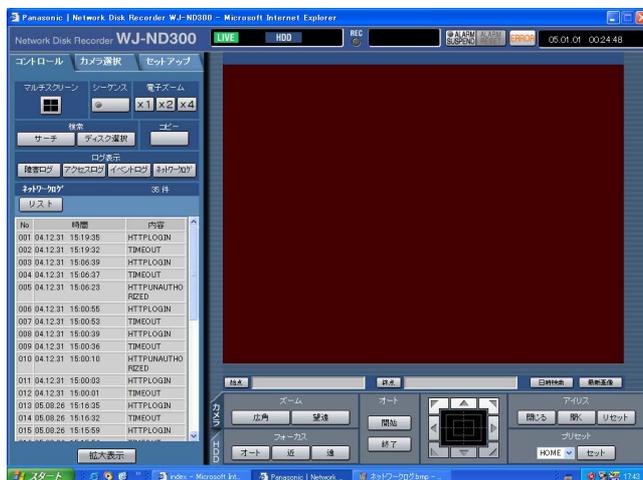
[セット] ボタンをクリックします。
→ 選択したプリセット番号に登録されているプリセットポジションへカメラの向きが移動します。

オート機能 (オートパンなど)

カメラで設定されたオート機能を動作させます。

画面1

[カメラ] タブを表示します。



STEP1

[オート] ボックスにある [開始] ボタンをクリックして、オート機能を開始します。
オート機能を終了するときは [終了] ボタンをクリックします。

メモ

- カメラのオート機能についてはカメラの取扱説明書をお読みください。

イベント機能について

本機は以下のイベントが発生すると、設定に従いイベント動作を行います。

- 端子アラーム入力：ドアセンサーなどの外部機器から本機後面のアラーム入力端子へ信号が入力されること
- コマンドアラーム受信：ネットワークを経由してPCからコマンドアラームが送られてくること
- カメラサイトアラーム：ネットワークカメラから独自アラームが送られてくること

イベント発生時の動作

イベントが発生し、本機がイベントを認識すると、設定に従ってイベント動作を行います。

本機では、イベント発生時の動作をアラームモード（ALM）、アクティビティディテクションモード（ADM）、OFFの3種類から選択します。設定している動作モードによって、イベント発生時の動作は異なります。

動作モードについて

●アラームモード（ALM）

イベント発生時に外部へ通知を行うモードです。アラームモード時に行われる動作を総称して「アラーム動作」と呼びます。

●アクティビティディテクションモード（ADM）

イベント発生時に外部機器へ通知を行わず、イベント入力ログの書き込み、プリセット動作のみを行うモードです。

●OFF

イベント入力ログへの記録のみ行います。その他のイベント動作は行いません。

アラーム動作	アラームモード	アクティビティ ディテクションモード	OFF
録画を開始する	○	○	×
画面にイベント情報を表示する	○	×	×
アラームランプを点滅する	○	×	×
ブザーを鳴らす	○	×	×
カメラの向きをプリセットポジション に移動する	○	○	×
イベント発生をメールで通知する	○	×	×
本機後面のアラーム端子、アラーム/ コントロール端子から信号を出力する (アラーム出力)	○	×	×
イベント入力ログへ記録する	○	○	○
FTPサーバーへ画像を送信する	○	×	×
独自のプロトコル設定に従ってPCに アラームを通知する	○	×	×

アラーム動作について

●録画を開始する

イベントが発生すると、録画を開始します。録画時間や録画レートなど、セットアップメニュー（[取扱説明書ネットワーク設定編（PDFマニュアル）](#)）で設定した内容に従って録画されます。

設定によっては、イベントが発生した時間よりも前のカメラ画像を、発生したイベントと関連づけて録画することもできます（イベント・プレ録画）。

●アラームランプを点滅する

イベントが発生すると、本機前面にあるアラームランプが点滅表示します。

●ブザーを鳴らす

イベントが発生すると、セットアップメニュー（[取扱説明書ネットワーク設定編（PDFマニュアル）](#)）で設定した時間ブザーを鳴らします。セットアップメニューで設定していない場合、ブザーは鳴りません。

●カメラの向きをプリセットポジションに移動する

イベントが発生すると、あらかじめ登録しているプリセットポジションへカメラの向きを移動します。

プリセットポジションの登録のしかたについてはnnページをお読みください。

●イベント発生をメールで通知する

イベントが発生すると、イベントの発生とその日時を知らせる電子メール（アラームメール）を登録したメールアドレスに送信して通知します。その際、画像を1枚添付して送信することもできます。

アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。

イベント発生時にアラームメールを送信するようには、あらかじめセットアップメニュー（[取扱説明書ネットワーク設定編（PDFマニュアル）](#)）で設定しておく必要があります。

●本機後面のアラーム端子、アラーム出力端子から信号を送出する（アラーム出力）

イベントが発生すると、後面のアラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号の出力時間はセットアップメニュー（[取扱説明書ネットワーク設定編（PDFマニュアル）](#)）で設定します。

●イベントログへ記録する

イベントが発生すると、イベントが発生した時間とイベントの種類がイベントログに記録されます。

●独自のプロトコル設定に従ってPCにアラームを通知する

イベントやエラー発生時、セットアップメニュー [通信] - [アラーム独自プロトコル設定] の設定に従って、発生したイベントやエラー情報をPCに自動的に通知するかどうかをON/OFFで設定します。

発生したイベントやエラー情報を受信し内容を表示するためには、通知先のPCに専用のソフトウェア（WV-AS65：別売り）がインストールされている必要があります。

●イベント発生時、録画画像をFTPサーバーへ送信する

イベントが発生すると、イベント録画を開始した時刻から設定した時間の画像をFTPサーバーへ自動的に送信します。イベント発生時にFTPサーバーへ録画画像を自動送信するようには、あらかじめセットアップメニュー（[取扱説明書ネットワーク設定編（PDFマニュアル）](#)）で設定しておく必要があります。

アラーム動作を解除する

イベントが入力されると、本機は設定に従ってアラーム動作を開始します。
アラーム動作を手動で解除したいときは、以下の操作を行ってください。

画面1

イベントが発生すると、ステータス表示部に「ALARM RESET」が表示されます。



STEP 1

[ALARM RESET] ボタンをクリックします。
→アラーム動作が解除されます。

アラーム動作を抑止する

イベントが発生してもアラーム動作を行わないように設定します。設定作業中など、一定期間アラーム動作を行わないようにしたいときに設定します。

ただし、アラーム動作を抑止しても、録画とイベント入力ログへの記録、プリセット動作は行われます。

画面1

操作画面を表示します。



STEP 1

[ALARM SUSPEND] ボタンをクリックします。
→アラーム動作が抑止されます。
本機前面のアラーム抑止ランプが点灯します。

STEP 2

アラーム抑止を解除する場合は、再度 [ALARM SUSPEND] ボタンをクリックします。
→本機前面のアラーム抑止ランプが消灯します。

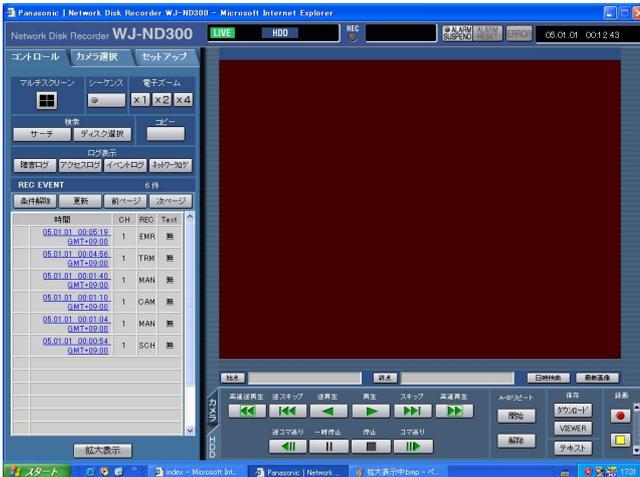
コピーする

HDD通常領域／イベント領域に録画された画像をHDDのコピー領域に手動でコピーします。
大切なデータはHDDの故障や突然の事故発生に備えて、バックアップを取ることをおすすめします。
手動でのコピーは以下の状態のときに行えます。

- ライブ画像の表示中
- 録画画像の再生一時停止中

画面1

[コントロール] タブを表示します。



STEP1

[コントロール] タブの [コピー (TO EXT)] ボックスにあるボタンをクリックします。

メモ

- 以下の場合は、コピーを行うことはできません ([コピー] ボックスにあるボタンをクリックすると、ポップアップ画面が表示されます)。
 - ・すでにコピーが行われているとき
 - ・再生画像のダウンロード (mnnページ) 中はコピーを行うことはできません。
 - ・HDDコピー領域をディスク選択しているとき

画面1

データコピー画面が表示されます。



STEP2

コピーしたいカメラCHをクリックして選択します。
カメラCHは複数選択できます。

STEP3

[√] ボタンをクリックして、コピーの開始日時／終了日時を設定します。

STEP4

設定した日時がどのカメラCHのタイムゾーンを基準にするのかを設定します。

(国をまたがってカメラを設置している場合など、どのカメラCHの日時を基準にするのか設定する必要があります。)

STEP5

[OK] ボタンをクリックします。

→コピーが開始され、ステータス表示部に **COPY** が表示されます。ただし、以下の場合は、ポップアップ画面が表示され、コピーが実行されません。

- 他のユーザーがコピー先のディスク選択しているとき
- すでにコピーが行われているとき

HDDに記録している画像を手動で消去する

本機の内蔵HDDの通常録画領域、イベント録画領域、コピー領域に録画されている画像を手動で消去します。日付を設定し、設定した日付の前日までに記録された画像を消去します。

!!重要!!

- 消去した画像は復元することができません。ご注意ください。
- 日数を設定しその日数が経過すると、自動的にHDD内の画像を消去するように設定できます（HDD自動消去）。詳しくはシステムの管理者にご確認ください。
- セットアップメニュー [メンテナンス] - 「終端設定」を「STOP」に設定している場合、消去しても残容量は増えません。

画面1

[セットアップ] タブ（詳細設定）の [メンテナンス] ボタンをクリックし、サブメニューの [データ消去] をクリックして、データ消去画面を表示します。



STEP 1

「通常録画領域手動消去」「イベント録画領域手動消去」「コピー領域手動消去」のいずれかの日付を設定します。ここで設定した日付の前日までに記録された画像が消去対象になります。

STEP 2

[消去実行] ボタンをクリックします。

画面2

確認画面がポップアップ表示されます。



STEP 3

[OK] ボタンをクリックします。
→データ消去を開始します。データ消去が完了すると、データ消去画面に戻ります。

文字情報を表示／編集する

画像を録画する際に画像に文字情報（テキスト）を記録することができます。

文字情報は200文字まで入力することができます。

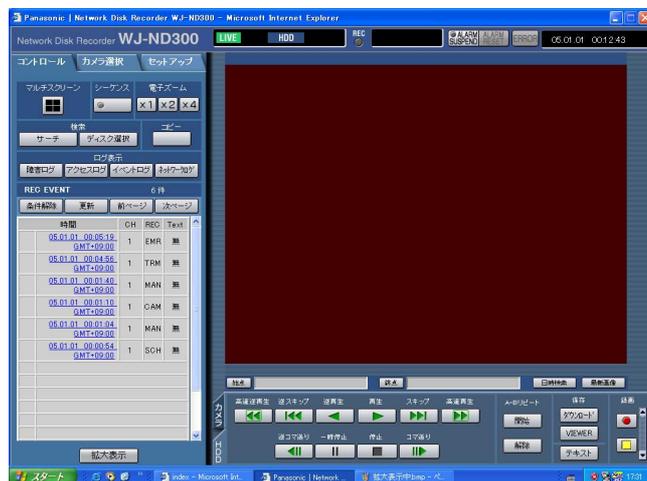
ここでは、画像に付けられている文字情報を表示、編集する方法について説明します。

メモ

- 文字情報の表示／編集は、1画面で再生一時停止中に行うことができます。

画面1

録画画像を1画面で再生している画面から操作します。



STEP1

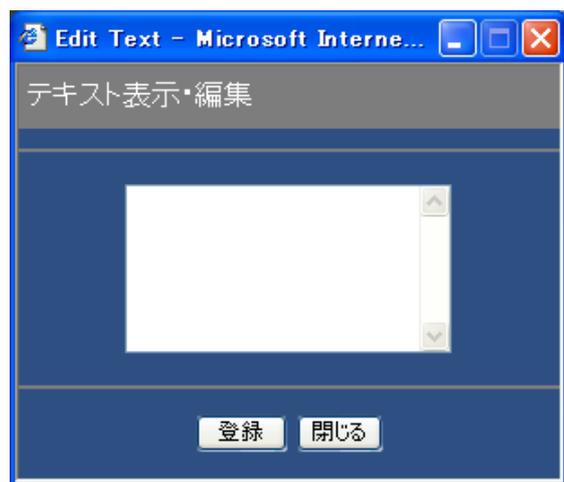
[一時停止] ボタンをクリックして再生を一時停止します。

STEP2

[HDD] タブの [テキスト] ボタンをクリックします。

画面2

テキスト表示・編集画面が表示されます。



STEP3

再生中の画像に記録されている文字情報が表示されます。

STEP4

文字情報を編集します。

- 使用可能文字について

以下の半角英数字／記号が入力できます。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V
W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u
v w x y z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! " # \$ % & ' ()
* + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ (スペース)

STEP5

[登録] ボタンをクリックします。

→文字情報が登録されます。

STEP6

[閉じる] ボタンをクリックします。

→テキスト表示・編集画面が閉じます。

FTPサーバーにカメラ画像を送信する

本機はカメラの画像をFTPサーバーに送信するよう設定することができます。

FTPサーバーへの送信は、決まった時間に定期的に送信する方法（定期送信）と、イベント発生時にそのイベント発生時のカメラ画像をFTPサーバーに送信する方法（アラーム送信）があります。

定期的にカメラの画像を送信する

FTPサーバーに定期的にカメラの画像を送信するには、あらかじめセットアップメニューで設定をしておく必要があります。

送信先のサーバーのディレクトリや送信間隔、送信するカメラCHなどの設定は、セットアップメニュー（詳細設定）[通信] - [NW FTP設定] - [定期送信]で行います。

また、定期送信を行うかどうかのON/OFFの設定はセットアップメニュー（詳細設定）[スケジュール] - [タイムテーブル] - [FTP定期送信]で行います。

設定については、取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

イベント発生時にカメラの画像を送信する

イベント発生時、そのイベント発生時のカメラ画像をFTPサーバーに送信するにはあらかじめセットアップメニューで設定をしておく必要があります。

送信したいサーバー名、送信するプレ録画画像・ポスト録画画像の時間などの設定は、セットアップメニュー（詳細設定）[通信] - [NW FTP設定] - [アラーム送信]で行います。

また、アラーム送信を行うかどうかのON/OFFの設定はセットアップメニュー（詳細設定）[スケジュール] - [タイムテーブル] - [FTPアラーム送信]で行います。

設定については、取扱説明書ネットワーク設定編（PDFファイル）をお読みください。

履歴を確認する

以下の履歴を確認できます。

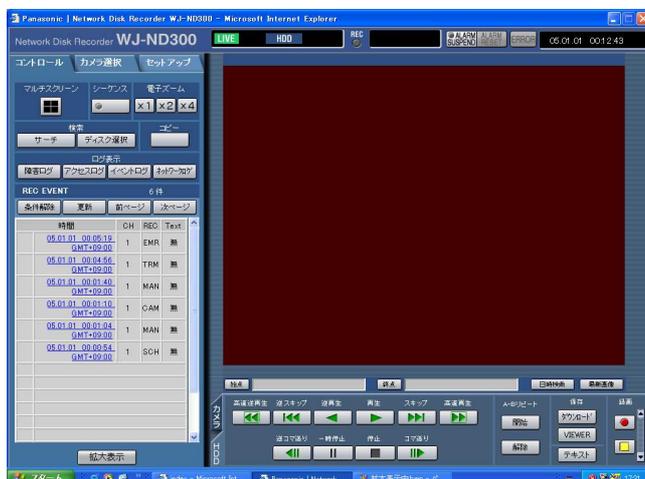
- 障害発生の履歴
- 本機へのアクセス履歴
- イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）
- ネットワークの障害履歴

障害発生の履歴を確認する

本機の障害発生の履歴を一覧で表示します。

画面1

[コントロール] タブを表示します。



STEP1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [障害ログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下に障害発生の履歴（障害ログ画面）が一覧表示されます。障害ログの内容についてはnnページをお読みください。



STEP2

障害ログ画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

- 障害ログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- 最新ログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。

本機へのアクセス履歴を確認する

本機にログイン／ログアウトした際の日時とユーザー名、IPアドレスを表示します。

画面1

[コントロール] タブを表示します。

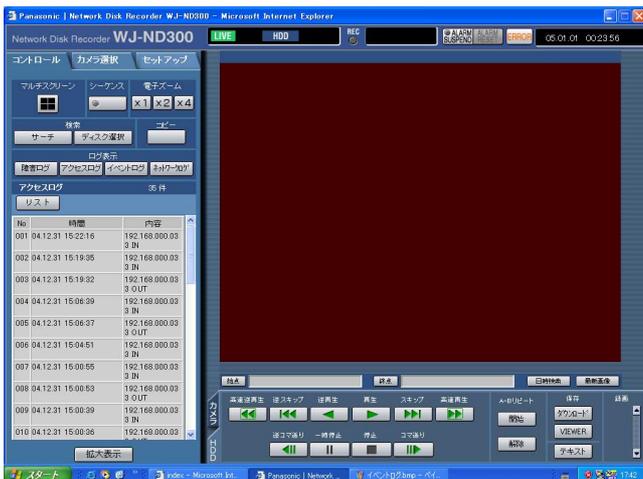


STEP 1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [アクセスログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下にアクセスの履歴（アクセスログ画面）が一覧表示されます。



アクセスログの内容について

- **IN : 「IN」の前に記述されているユーザーまたはホストがログイン
- **OUT : 「OUT」の前に記述されているユーザーまたはホストがログアウト
- **にはユーザー名またはIPアドレスが表示されます。

STEP 2

アクセスログ画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

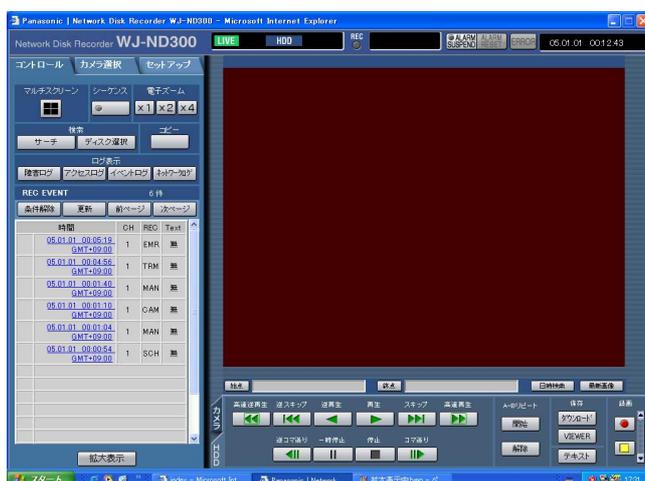
- アクセスログは最大100件まで登録されます。100件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。

イベント発生履歴を確認する

イベント発生履歴（発生日時、イベント内容）を一覧で表示します。
各イベント内容の詳細についてはnnページをお読みください。

画面1

[コントロール] タブを表示します。

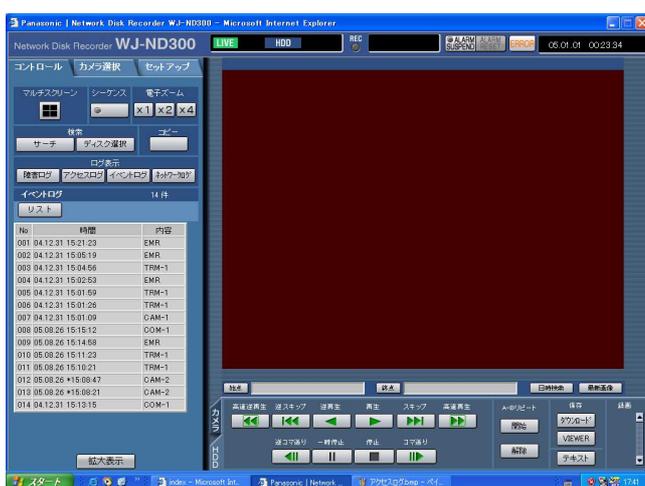


STEP1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [イベントログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下にイベント発生履歴（イベントログ画面）が一覧表示されます。



イベントログの内容について

COM : コマンドアラーム
EMR : 緊急録画
TRM : 端子アラーム
CAM : サイトアラーム

STEP2

「イベントログ」画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

- イベントログは最大750件まで登録されます。750件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。

ネットワークの障害履歴を確認する

ネットワークの障害発生の履歴（発生日時、障害内容）を一覧で表示します。

画面1

[コントロール] タブを表示します。



STEP1

[コントロール] タブの [ログ表示] ボックスにある [ネットワークログ] ボタンをクリックします。

画面2

[コントロール] タブの下にネットワークの障害発生の履歴（NWログ画面）が一覧表示されます。ネットワークの障害ログの内容についてはnnページをお読みください。



STEP2

NWログ画面を閉じるときは、[リスト] ボタンをクリックします。

メモ

- ネットワークログは最大1000件まで登録されます。1000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。
- 最新のネットワークログと同じ障害が発生したときは、最新ログの日時のみ更新されます。

再生画像をダウンロードする

再生している画像の開始位置と終了位置を指定して、PCに画像をダウンロードします。

再生画像をダウンロードすると、画像データファイル（ファイル名.n3r）としてダウンロードされます。ダウンロードした画像の再生方法についてはnnページをお読みください。

!!重要!!

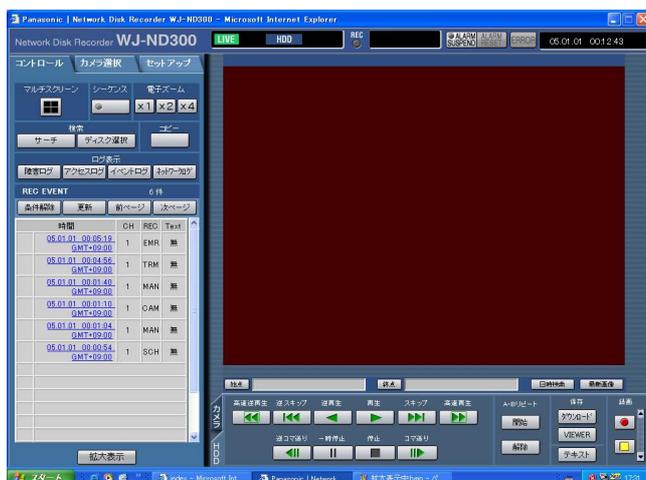
- PCのファイルシステムがFAT32の場合は、一度にダウンロードするファイルのサイズは4 GB未満にしてください。ファイルサイズの目安は以下のとおりです。

解像度	画質	録画レート	録画時間
640×480	SF	30 ips	約20分
640×480	FQ	30 ips	約30分
640×240	SF	30 ips	約40分
640×240	FQ	30 ips	約70分

- ダウンロードするときには、PCのHDDにダウンロードするファイルサイズの2倍以上の空き容量*が必要となります。 ※Microsoft® Internet Explorer の制限事項です。
- ダウンロードを途中で中断すると、ダウンロードしたファイルをPCで正しく再生できません。

画面1

[HDD] タブを表示します。



STEP1

ダウンロードを開始したい画像の再生日時を再生位置操作部の「始点」ボックスに入力します。

または、ダウンロードを開始したい再生位置で「始点」ボタンをクリックします。

→再生位置操作部に設定した始点の日時が表示されます。

STEP2

ダウンロードを終了したい画像の再生日時を再生位置操作部の「終点」ボックスに入力します。

または、ダウンロードを終了したい再生位置で「終点」ボタンをクリックします。

→再生位置操作部に設定した終点の日時が表示されます。一度にダウンロードできる時間は最大20分です。

STEP3

[ダウンロード] ボタンをクリックします。

再生画像をダウンロードする（つづき）

画面2

ダウンロード設定画面が表示されます。



STEP4

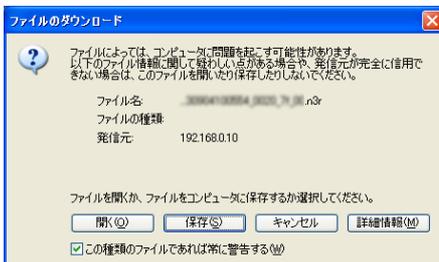
ダウンロードするデータに改ざん検出するためのデータを付けるか付けないかをON/OFFで選択し、[OK] ボタンをクリックします。

メモ

- 改ざん検出のためのデータを付けると、ダウンロード時間が長くなります。

画面3

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

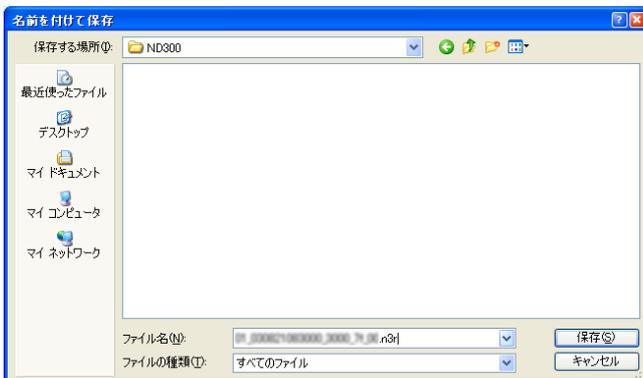


STEP5

[保存] ボタンをクリックします。

画面4

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



STEP6

任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、[保存] ボタンをクリックします。

→画像データ（ファイル名.n3r）がダウンロードされます。

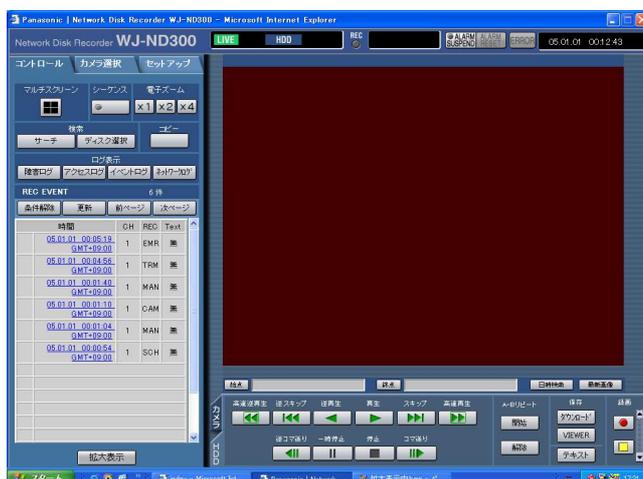
ダウンロードした画像を操作する

再生画像をダウンロードすると、画像データ（ファイル名.h3r）がダウンロードされます。ダウンロードした画像データは付属のCD-ROM内、または本機からダウンロード可能なビューワーソフトを使って、再生、保存、印刷ができます。

本機からビューワーソフトをダウンロードする

画面1

[HDD] タブを表示します。

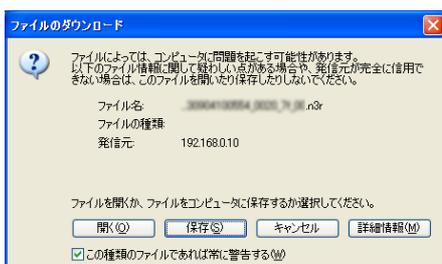


STEP 1

[保存] ボックスにある [VIEWER] ボタンをクリックします。

画面2

ファイルのダウンロード画面が表示されます。

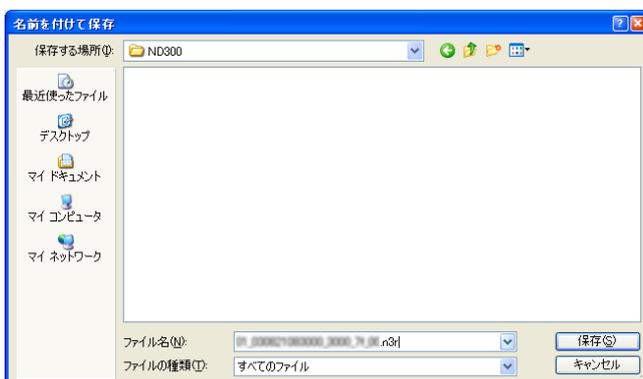


STEP 2

[保存] ボタンをクリックします。

画面3

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



STEP 3

任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、[保存] ボタンをクリックします。

→ビューワーソフト（ファイル名.n3r）がダウンロードされます。

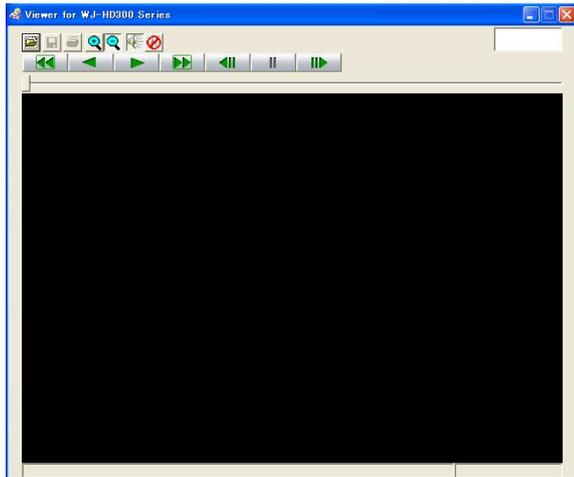
便利な機能

ダウンロードした画像を操作する（つづき）

画像を再生する

画面1

ビューワーソフトを起動し、以下の画面を表示します。

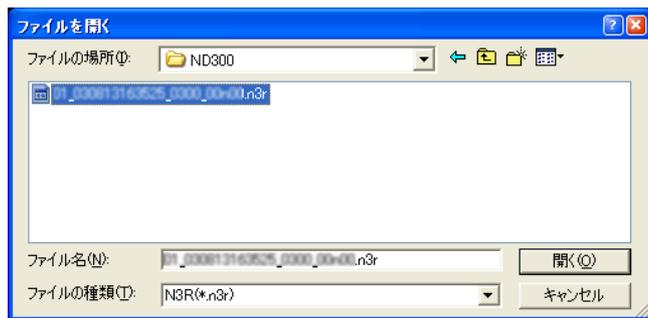


STEP1

[ファイルを開く] ボタンをクリックします。

画面2

ファイルを開く画面が表示されます。



STEP2

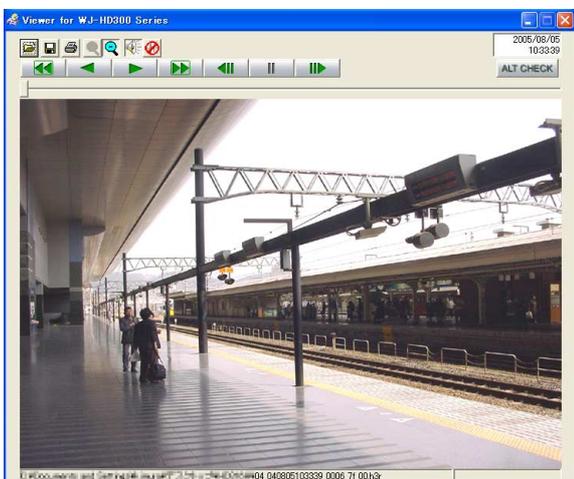
ダウンロードした画像データ（ファイル名.n3r）を選択します。

STEP3

[開く] ボタンをクリックします。

画面3

画像が表示されます。



STEP4

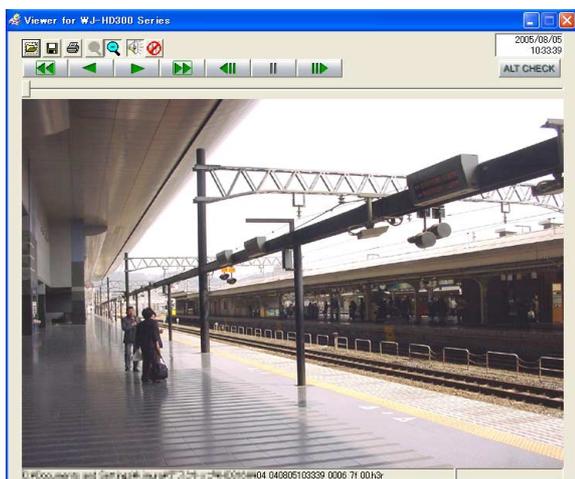
再生ボタンを押します。

画像を保存する

表示している画像をPCにbmpファイルまたはjpegファイルとして保存します。保存はビューワソフトで再生一時停止中に行います。

画面1

ビューワソフトで再生を行っている画面から操作します。



STEP 1

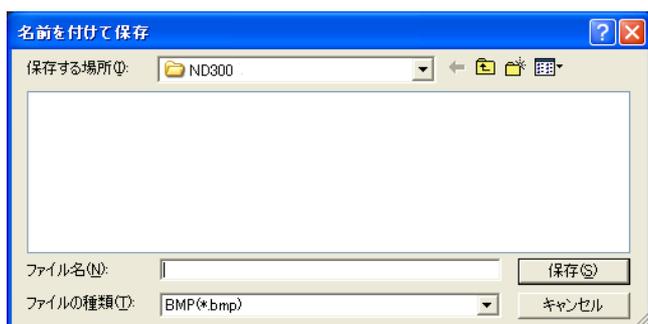
再生一時停止ボタンをクリックします。

STEP 2

保存ボタンをクリックします。

画面2

ファイルの保存先を指定する画面が表示されます。



STEP 3

ファイル名を入力し、ファイル形式（BMPまたはJPG/JPEG）を選択します。

STEP 4

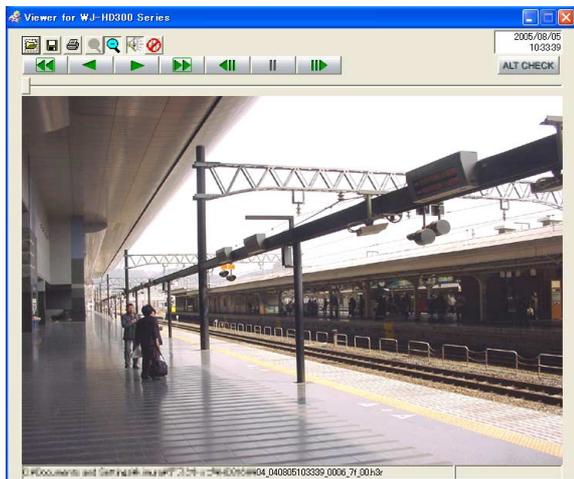
保存先を確認し、[保存] ボタンをクリックします。
→画像データが保存されます。

画像を印刷する

ビューワソフトで再生一時停止中に、表示している画像をプリンターで印刷します。

画面1

ビューワソフトで再生を行っている画面から操作します。



STEP1

再生一時停止ボタンをクリックします。

STEP2

印刷ボタンをクリックします。

メモ

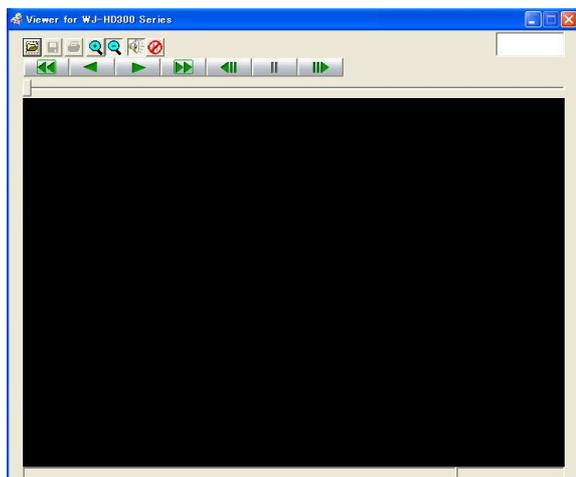
- n3rファイルの画像を印刷すると、再生一時停止の日時も印刷されます。

改ざん検出を行う

画像のコピー時やダウンロード時に改ざん検出用のデータを付けるよう設定されているデータの改ざん検出を行います。改ざん検出用のデータを付ける操作方法についてはnn、nnページをお読みください。

画面1

ビューワソフトを起動し、以下の画面を表示します。

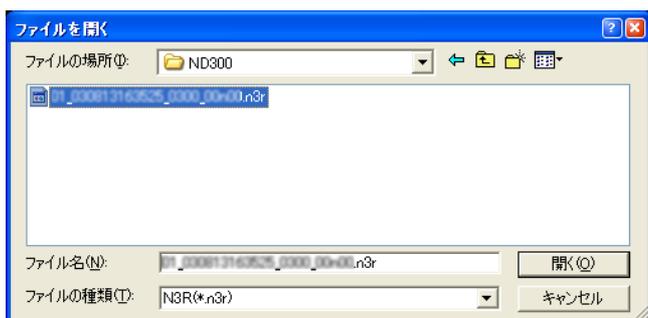


STEP1

[ファイルを開く] ボタンをクリックします。

画面2

ファイルを開く画面が表示されます。



STEP2

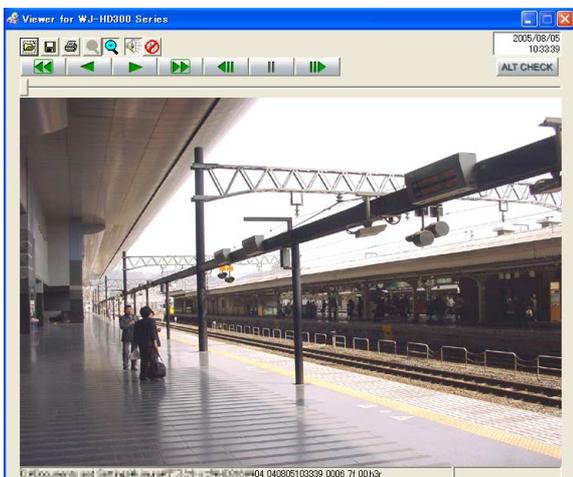
ダウンロードした画像データ（ファイル名.n3r）を選択します。

STEP3

[開く] ボタンをクリックします。

画面3

画像が表示され、データの先頭画像が一時停止して表示されます。



STEP4

[ALT CHECK] ボタンをクリックします。

→改ざん検出が開始されます。

改ざん検出開始後に以下のメッセージがポップアップ表示されます。

OK(Not Altered) : 改ざんが検出されませんでした。

NG(Altered) : 改ざんが検出されました。

メモ

- [ALT CHECK] ボタンは改ざん検出が可能な画像データを開いているときのみ表示されます。

メール通知について

アラームメールについて

アラームメールには以下のように本機内に保存されたアラーム画像へのリンクアドレスが表示されます。

アラームメールの内容：

ND300 (192.168.0.250) でアラームが発生しました。
発生日時：xxxx-xx-xx xx:xx:xx (例2005-1-1 12:00:00)
アラーム要因：アラーム内容とカメラCHまたはアラーム番号を表示 (例：Command 5CH)
アラーム画像ファイル名：電子メールに添付されているファイル名
URL：http://192.168.0.250/

アラームメールの内容をカスタマイズする

イベントの発生とその日時をお知らせするアラームメールの内容はカスタマイズすることができます。以下の手順で操作してください。

STEP1

メール本文をテキストエディタで作成し、テキスト形式で保存します。
表示させたい項目（イベント発生日時やアラーム要因、ホストアドレスなど）によって、入力する文字が異なります。メール内容を作成する際、次ページの置換文字一覧を参考にしてください。ファイル名は「almmail.tmp」にして保存します。

STEP2

FTPソフトを起動し、本機のIPアドレスを入力して本機に接続します。
ユーザー名、パスワードは以下のように設定します。
ユーザー名： 管理者ユーザー名
パスワード： 管理者パスワード (初期値：12345)
ユーザー名、パスワードの設定についてはシステムの管理者にご確認ください。

STEP3

作成したファイル (almmail.tmp) をテキスト形式で転送します。
転送先は、/user/ND300/HTML_FILESです。

置換文字一覧

表示させたい項目	入力文字	表示形式／表示例
アラーム発生年（4桁）	%#05000000	西暦4桁表示（2003～2099）
アラーム発生月（数字）	%#05000100	最大2桁表示（1～12）
アラーム発生月（文字）	%#05000200	英語の頭3文字表示（Jan、Feb、.....Dec）
アラーム発生日	%#05000300	最大2桁表示（1～31）
アラーム発生時間	%#05000400	24時間表示（15：00：00）
送信者メールアドレス	%#05000500	
HD350のホスト名	%#05000600	
HD350のIPアドレス	%#05000700	192.168.0.250
アラーム要因	%#05000800	端子：Terminal コマンド：Command 緊急録画：Emergency サイト：Camera
アラーム番号	%#05000900	最大数字2桁（1～16）+ CH
アラーム画像ファイル名	%#05001000	xx_ALMyyyynnddhmmss.jpg ファイルが存在しない場合は空白 xx：カメラCH番号 yyyyynndd：イベント発生日付 hhmmss：イベント発生時、分、秒
URL	%#05001100	ホスト名.ドメイン名：HTTPポート番号/ <ul style="list-style-type: none"> ●ホスト名、ドメイン名が設定されているとき（DDNS OFF時） ●DDNSでホスト名、ドメイン名が正常に取得できているとき（DDNS ON時） IPアドレス：HTTPポート番号/ <ul style="list-style-type: none"> ●ホスト名、ドメイン名が設定されていないとき（DDNS OFF時） ●DDNSでホスト名、ドメイン名が正常に取得できていないとき（DDNS ON時） ただし、HTTPポート番号が80に設定されているときは「：HTTPポート番号」が省略されます。

障害メールについて

本機に障害が発生すると、あらかじめ登録したメールアドレスに以下の内容の電子メール（障害メール）を送信し、障害発生を通知します。

ND300(192.168.0.250) 状態通知 日時：2005-1-1 12:00:00 状態：障害の内容を表示（例：THERMAL ERROR）

表示	説明
日時	障害が発生した日時をあらわします。
状態	以下の障害の内容をあらわします。 HDD残容量警告*1 : <FULL以外> EVENT-HDD CAPACITY REMAINS **% COPY-HDD CAPACITY REMAINS **% **は残容量(%) <FULL時> EVENT-HDD FULL COPY-HDD FULL 停電検出 : POWER LOSS 停電復旧 : POWER RECOVERD NWカメラ障害検出 : CAM** COMMUNICATION ERROR HDDスマート警告 : HDDx-y DISK WARNING x-yはディスク番号（通し番号） HDDアワーメーター警告 : HDDx-y HOUR METER WARNING 自動リンク外し : HDDx-y LOGICALLY REMOVED x-yはディスク番号（通し番号） RAID5復旧失敗 : HDDx RAID5 RECOVERY FAILURE Xはユニット番号 Yはディスク番号 ファン異常 : FAN ERROR x-y Xはユニット番号 Yはファン番号 温度異常 : THERMAL ERROR x-y Xはユニット番号 Yはセンサー番号 NWリンク外れエラー : PORTx NETWORK LINK ERROR xはネットワークポート番号 RAID1ダウン : HDDx-y RAID5 1DOWN x-yはディスク番号（通し番号） RAID2ダウン : HDDx-y RAID5 2DOWN x-yはディスク番号（通し番号） DHCP IP アドレスロスト : PORTx DHCP ERROR xはネットワークポート番号

HDD残容量警告について

残容量がセットアップ「メンテナンス」の「残容量警告」で設定した値に達したら、<FULL以外>の内容で障害メールを送信します。以降、残容量が1%減少するたびに、<FULL以外>の内容で障害メールを送信し、残容量がなくなったら、<FULL時>の内容で障害メールを1回送信します。

障害履歴について

障害の内容	障害ログ	ネットワーク障害ログ	液晶表示	後面端子出力名
停電検出	PWR LOSS	—	SYS-1 ERR システムケツユツ	—
停電復旧	PWR RECOVER	—	—	—
FAN警告	FAN u-f	—	FAN-1-u-f ERR ファンケイコ	異常出力
温度異常警告	THERMAL u-1	—	TML-1-u-1 ERR ホドケイコ	異常出力
増設モード設定異常	—	—	SYS-2 SINGLE RAID コガイイラ-	—
HDDライトエラー	W-ERR u-d	—	—	—
HDDリードエラー	R-ERR u-d	—	—	—
RAID 1ダウン	HDu-d 1DOWN	—	—	HDD異常出力
RAID 2ダウン	HDu 2DOWN	—	—	HDD異常出力
ディスク構成変更	—	—	ディスクコノカクメニ デセツテイヨシカダサイ	—
HDD S.M.A.R.T.警告	SMART u-d	—	HDD-1-u-d ERR HDDケイコ	HDD異常出力
HDDアワーメーター警告	H.METER u-d	—	HDD-2-u-d ERR HDDアワーメーターケイコ	HDD異常出力
HDD自動リンク外し	REMOVE u-d	—	HDD-3-u-d ERR HDD REMOVEイラ-	HDD異常出力
HDD RAID5復旧失敗	R-FAIL u	—	HDD-4-u ERR RAID5フックユイラ-	HDD異常出力
EVENT領域残容量警告	—	—	—	コピー／イベント 領域残容量警告出力
EVENT領域残容量警告 (FULL)	*-FULL	—	HDD-5-u-d ERR イベント HDD FULL	コピー／イベント 領域残容量警告出力
COPY領域残容量警告	—	—	—	コピー／イベント 領域残容量警告出力
COPY領域残容量警告 (FULL)	*-FULL	—	HDD-6-u-d ERR 北° - HDD FULL	コピー／イベント 領域残容量警告出力
HDD RAIDボード初期化失敗	—	—	HDD-9-u-d ERR RAIDヨカトイラ-	—
ネットワークリンク外れ	—	LINK-ERRn	NET-1-n ERR NWリンクイラ-	ネットワーク異常 出力
ネットワークカメラ障害検出	CAM cc ERR	—	NET-3-n ERR カメラ ccイラ-	カメラ異常出力
ネットワークカメラ障害復旧	CAM cc RECOVER	—	—	—
電子メール送信エラー	—	SMTPEMAIL_SEND	—	ネットワーク異常 出力
認証エラー	—	SMTPEMAIL_TEST_ERR	—	ネットワーク異常 出力

障害履歴について（つづき）

障害の内容	障害ログ	ネットワーク障害ログ	液晶表示	後面端子出力名
DNSからPOP3サーバ アドレス解決できず	－	SMTPPOP3ADD_ERR	－	ネットワーク異常 出力
POP3サーバ見つからず	－	SMTPPOP3SVR_ERR	－	ネットワーク異常 出力
DNSからSMTPサーバ アドレス解決できず	－	SMTPSVRADD_ERR	－	ネットワーク異常 出力
SMTPサーバ見つからず	－	SMTPSVR_ERR	－	ネットワーク異常 出力
MAIL FROM コマンドエラー	－	SMTPMAILFROM_ERR	－	ネットワーク異常 出力
RCPT TO コマンドエラー	－	SMTPRCPTTO_ERR	－	ネットワーク異常 出力
SMTPサーバ見つからず その他のエラー	－	SMTPOTHER SMTP	－	ネットワーク異常 出力
FTPクライアント 送信成功	－	FTPCLIENT_OK	－	－
FTPサーバ転送成功	－	FTPSVRFWD_OK	－	－
DNSからFTPサーバ アドレス解決できず	－	FTPSVRADD_ERR	－	ネットワーク異常 出力
FTPサーバ見つからず	－	FTPSVR_ERR	NET-4-n ERR FTP I ₇ -	ネットワーク異常 出力
FTPアップロード 転送エラー	－	FTPUPLOAD_ERR	NET-4-n ERR FTP I ₇ -	ネットワーク異常 出力
FTP Passiveモード でのエラー	－	FTPPASSIVE_ERR	NET-4-n ERR FTP I ₇ -	ネットワーク異常 出力
FTP ログイン失敗	－	FTPLOGIN_FAULT	NET-4-n ERR FTP I ₇ -	ネットワーク異常 出力
ログアウト失敗	－	FTPLOGOUT_FAULT	NET-4-n ERR FTP I ₇ -	ネットワーク異常 出力
FTP FTPその他エラー	－	FTPOTHER	NET-4-n ERR FTP I ₇ -	ネットワーク異常 出力
DDNS IPアドレス アップデート	－	DDNSIPADDUPDATE_OK	－	ネットワーク異常 出力
DDNSサーバ応答なし	－	DDNSSVRRES_ERR	－	ネットワーク異常 出力
DDNSユーザー名 パスワードエラー	－	DDNSUSERPASS_ERR	－	ネットワーク異常 出力
DDNS IPアドレス アップデートエラー	－	DNSIPADDUPDATE_ERR	－	ネットワーク異常 出力
DNSその他エラー	－	DNSOTHER	－	ネットワーク異常 出力
NTPサーバの時刻へ の同期成功	－	NTPGETTIME_OK	－	－
DNSからNTPサーバ アドレス解決できず	－	NTPSVRADD_ERR	－	ネットワーク異常 出力

障害の内容	障害ログ	ネットワーク障害ログ	液晶表示	後面端子出力名
時刻設定失敗	-	NTPSETTIME_ERR	-	ネットワーク異常出力
NTPサーバ応答なし	-	NTPSVRRES_ERR	-	ネットワーク異常出力
NTPその他のエラー	-	NTPOTHER	-	ネットワーク異常出力
SNMP送信成功	-	SNMPSEND_OK	-	-
SNMPユーザー名 パスワードエラー	-	SNMPUSERPASS_ERR	-	ネットワーク異常出力
SNMPオブジェクト 取得失敗	-	SNMPOBJ_ERR	-	ネットワーク異常出力
SNMPその他のエラー	-	SNMPOTHER	-	ネットワーク異常出力
DHCP IPアドレス取得	-	DHCPADD_OK	-	-
DHCP IPアドレス アップデート失敗 xx%	-	DHCPADDUPDATE_ERR	NET-2-n ERR DHCP I7-	ネットワーク異常出力
DHCP IPアドレス 登録失敗	-	DHCPADDENT_ERR	NET-2-n ERR DHCP I7-	ネットワーク異常出力
DHCP その他のエラー	-	DHCPOTHER	NET-2-n ERR DHCP I7-	ネットワーク異常出力
HTTP ログイン	-	HTTPLOGIN	-	-
HTTP タイムアウト	-	HTTPTIMEOUT	-	ネットワーク異常出力
HTTP ユーザー名 パスワードエラー	-	HTTPUSERPASS_ERR	-	ネットワーク異常出力
HTTP ダウンロード失敗	-	HTTPDOWNLOAD_ERR	-	ネットワーク異常出力
HTTP 要求無効	-	HTTPDREQUEST_ERR	-	ネットワーク異常出力
HTTP 権限なし	-	HTTPUNAUTHORIZED	-	ネットワーク異常出力
HTTP その他のエラー	-	HTTPOTHER	-	ネットワーク異常出力

上記表中の記号の意味

記号	意味	詳細
u	本体/ユニット番号	0：本体、1～6:増設ユニット
f	FAN番号	1：固定
u	本体/ユニット番号	0：本体、1～6:増設ユニット
d	ディスク番号	1～4：ディスク番号
n	ネットワークポート番号	1：カメラポート、2：PCポート、3：メンテナンスポート
cc	カメラ番号	01～32：カメラ番号

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときやわからないとき、この表以外の症状のときまたは設定・工事に関する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
<p>ブラウザからアクセスできない</p>	<p>▶ ●ネットワークポートに10BASE-Tまたは100BASE-Txケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。</p>	-
	<p>▶ ●ネットワークポートの接続表示ランプが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。</p>	-
	<p>▶ ●有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。</p>	取扱説明書 ネットワーク 設定編参照
	<p>▶ ●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 > ping “本機のIPアドレス” を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IP アドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。</p>	-
	<p>▶ ●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。</p>	取扱説明書 ネットワーク 設定編参照
	<p>▶ ●設定したIPアドレスと設置先のネットワーク／サブネットマスクが矛盾していませんか？ 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ また、ブラウザで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。</p>	取扱説明書 ネットワーク 設定編参照

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
<p>画像が更新されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。キーボードの [F5] ボタンを押して、画像を再度取得してください。 	<p>—</p>
<p>基本操作画面を表示したときに表示された認証ウィンドウを終了できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？ユーザー名、パスワードを確認してください。 	<p>取扱説明書 ネットワーク 設定編参照</p>
<p>ダウンロードした画像を再生できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> 再生画像のダウンロード中に設定が変更されると、ダウンロードを終了します。このとき、ダウンロードしていた画像は再生できません。 	<p>—</p>

故障かな!? (つづき)

Windows XP Service Pack2をインストールしてお使いになる場合

Windows XP SP2を適用してお使いの場合に、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



症 状	対応方法	参照ページ
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	<p>n</p>
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.'からの'ND300 CTL.cab'インストールするには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)] ボタンをクリックしてください。 	<p>n</p>

症 状	対応方法	参照ページ
<p>下記メッセージの情報バーが表示される。 「セキュリティ保護のため、このサイトによる、このコンピュータへのファイルのダウンロードがInternet Explorerによりブロックされました。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報バーをクリックし、「ファイルのダウンロード(D)...」を選択してください。 上記の操作を行ってもダウンロードできない場合には、以下の操作を行ってください。 Internet Explorerの [ツール(T)] - [インターネットオプション(O)...] - [セキュリティ] タブ - [レベルのカスタマイズ(C)...] ボタンをクリックしてセキュリティの設定画面を開きます。「ダウンロード」 - 「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	nn
<p>ダウンロードしたファイルを実行しようとする時、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。 「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> [実行(R)] ボタンをクリックしてください。 	nn
<p>ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、「その他」 - 「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。 	nn

松下電器産業株式会社
セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410